

授業科目	中級日本語（留学生のみ）					実務家教員担当科目	－		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	林 裕二								
授業概要	基礎的な日本語を学び終えた学生を対象に、四技能（聞く・話す・読む・書く）を総合的に伸ばすための授業を行う。具体的には、まず、テキストをベースに語彙や文法を学びながら、様々な文章を読む。その上で、自らの意見を話したり書いたりする時間も設ける。授業時以外でも日本語の学習ができるよう、自宅でできる課題も課す。小テスト、レポート提出と口頭発表を毎回行う。								
授業形態	対面授業				授業方法	講義 ペアワーク			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. 日本語の基礎的な文法や語彙を正確に理解し運用できる。 2. 中級レベルの類似した表現について、その違いを理解しよりの確に表現できるようになる。 3. 語彙を増やし、日本語で豊かな表現ができるようになる。 4. 成績評価において良（70～79）を獲得できる。 中級レベルの日本語を理解し、実際にそれらを運用することができる。								
理想的レベル	1. 中級から中上級レベルの日本語を深く理解し、実際にそれらを運用することができる。 2. 成績評価において優以上（80点～）を獲得できる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）				備考		
試験			50						
小テスト			15						
レポート			20						
発表（口頭、プレゼンテーション）			15						
レポート外の提出物									
その他									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	－	DP2	○	DP3	－	DP4	○	ナンバリング	－
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
予習・復習									1
授業計画									
第1回	・ガイダンス ・日本語能力の確認								
第2回	健康								
第3回	少子高齢化								
第4回	コミュニケーション								
第5回	慣習・風習								
第6回	大学生活								
第7回	社会保障								

第 8 回	少年・若者
第 9 回	雇用・労働
第 10 回	ボランティア
第 11 回	都市と地方
第 12 回	食糧問題
第 13 回	日本の社会生活
第 14 回	環境問題
第 15 回	まとめ
テキスト	本学図書館にある日本語関係の図書
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	音声課題をオンラインの音声入力を利用して聞き取り、文字化したものを修正して提出してもらいます。それをチェックします。授業で返却して解説します。
課題に対するフィードバックの方法	「初級日本語」で学習した日本語を確実に身につけていること 毎回出される授業外の課題に取り組むことで、日本語の能力がさらにアップします。 テストは定期期間内に行います。
学生へのメッセージ・コメント	